

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく 対応状況等に関する調査結果（令和6年度）

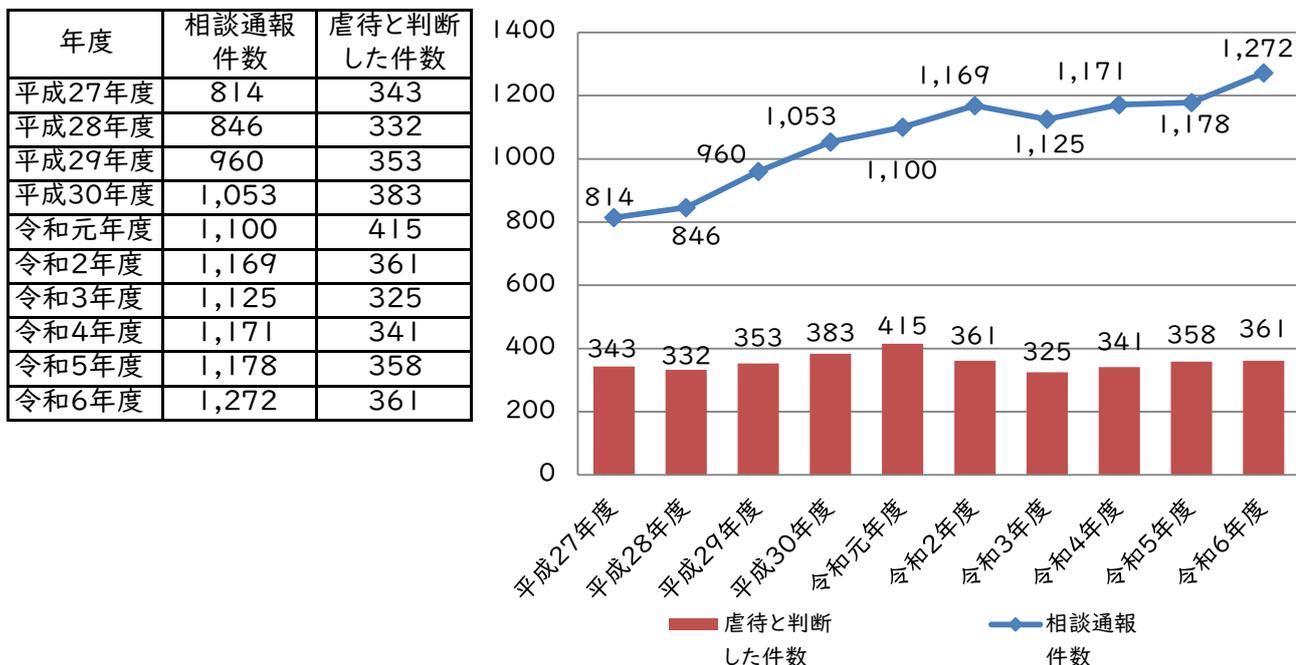
【留意事項】

表の%については小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が必ずしも100%にならない場合があります。

1. 養護者による高齢者虐待についての対応状況

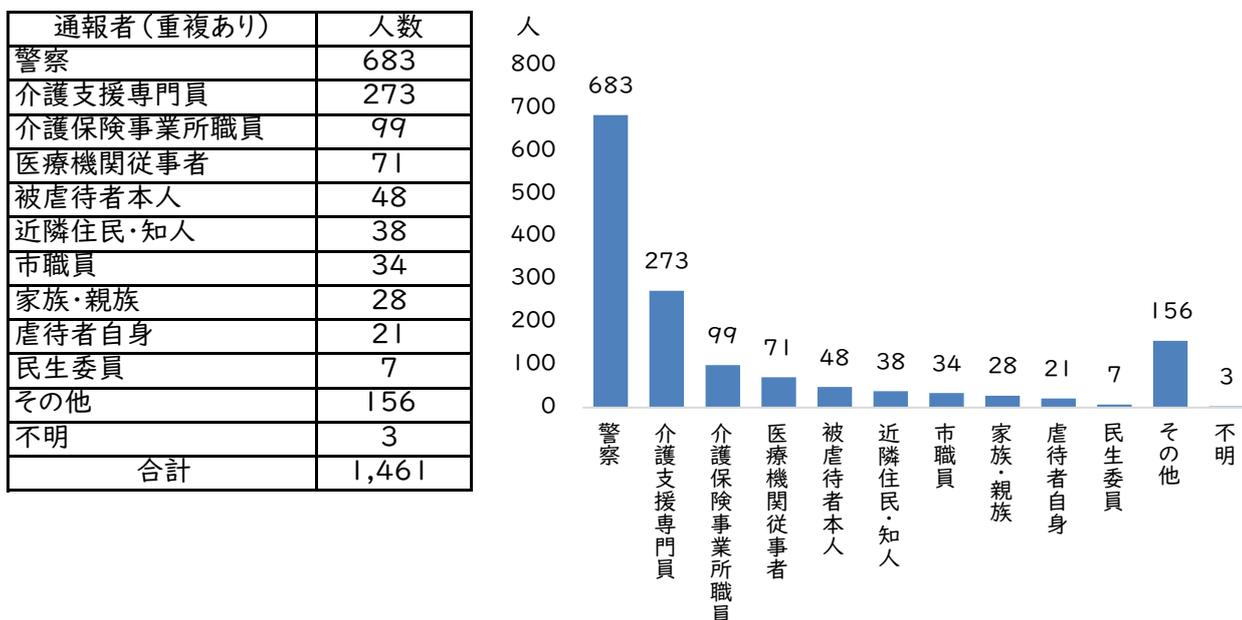
(1) 相談・通報対応数

通報件数（複数の被虐待者が同一家庭にいる事例は、1件とカウント）は、令和6年度は1,272件でした。相談・通報件数は年々増加し、令和5年度と比べて94件増加しています。



(2) 相談・通報者

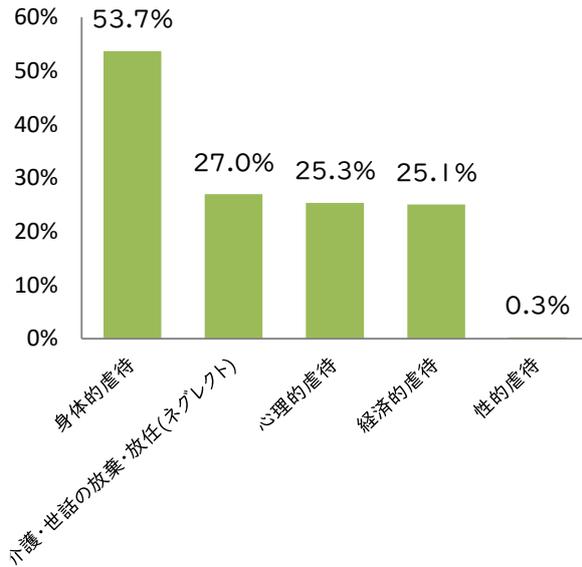
「警察」からの通報が最も多い。令和6年度は「介護支援専門員（ケアマネジャー）」「介護保険事業所職員」「医療従事者」からの通報も多数寄せられています。



(3) 虐待の種別（複数回答）

「身体的虐待」が53.7%と最も多くなっています。いずれの虐待についても、「介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）」と「経済的虐待」が合わせて発生する等、複数の種別の虐待行為が生じている場合があります。
 ※前年度受理し虐待判断が令和6年度となった人数を含めた367人に対する集計。

	人数	割合
身体的虐待	197	53.7%
介護・世話の放棄・放任(ネグレクト)	99	27.0%
心理的虐待	93	25.3%
経済的虐待	92	25.1%
性的虐待	1	0.3%
虐待と判断した実人員	367	—



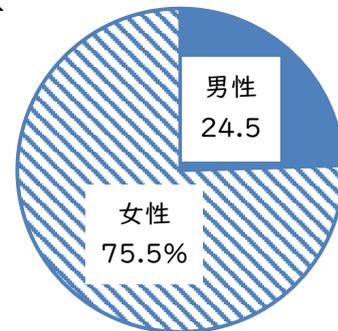
(4) 被虐待高齢者の状況

ア. 性別及び年齢 ※被虐待高齢者の実人数367人に対応する内訳

【被虐待高齢者の性別】

被虐待者は「女性」が多く、全体の75.5%を占めています。

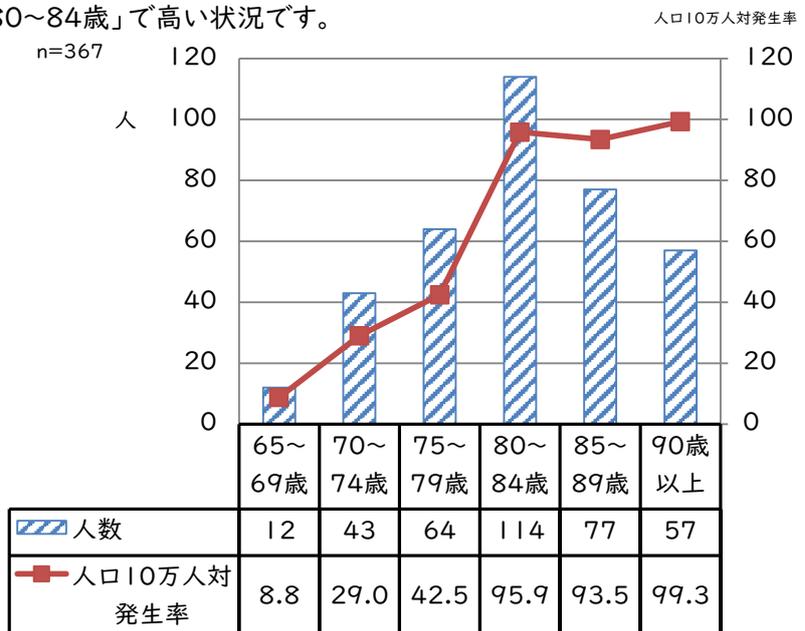
性別	人数
男性	90
女性	277



【被虐待高齢者の年齢】

虐待の発生率は、「90歳以上」、次いで「80~84歳」で高い状況です。

年齢	人数	人口10万人対発生率
65~69歳	12	8.8
70~74歳	43	29.0
75~79歳	64	42.5
80~84歳	114	95.9
85~89歳	77	93.5
90歳以上	57	99.3
合計	367	—

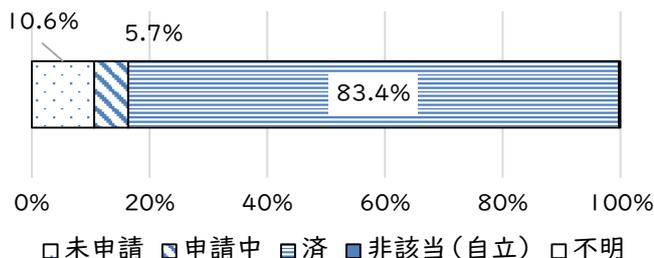


イ. 被虐待高齢者の要介護認定の状況

※被虐待高齢者の実人数367人に対応する内訳

「要介護認定済・申請中」が9割近くを占めていますが、「要介護認定未申請」も10.6%となっています。

	人数	割合
要介護認定 未申請	39	10.6%
要介護認定 申請中	21	5.7%
要介護認定 済	306	83.4%
要介護認定 非該当(自立)	1	0.3%
不明	0	0.0%
合計	367	100.0%



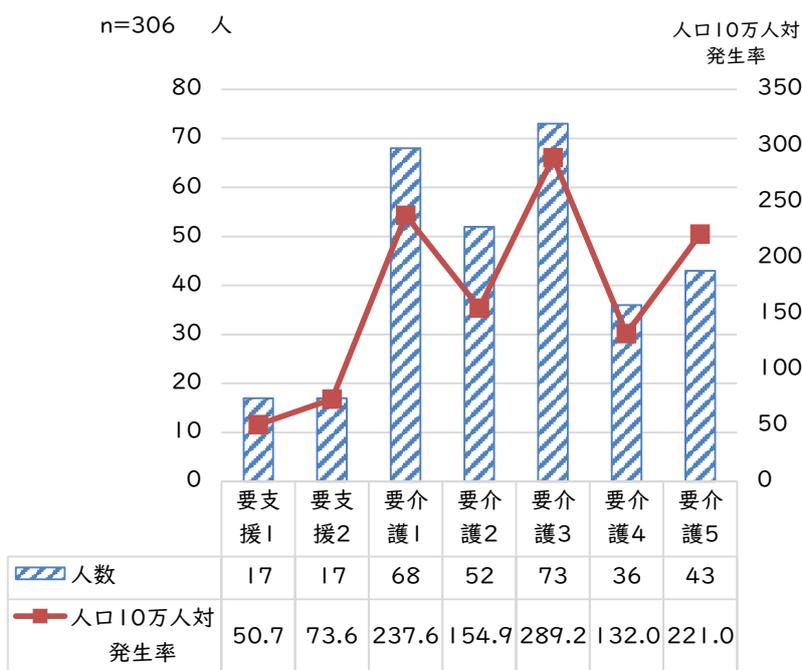
ウ. 要介護認定者の被虐待高齢者の状況

※要介護認定者306名に対する内訳

【要介護認定者の要介護状態区分】

「要介護3」及び「要介護1」の認定を受けている高齢者が多い。「要介護3」以上の認定を受けている高齢者は全体の半分近くを占めています。

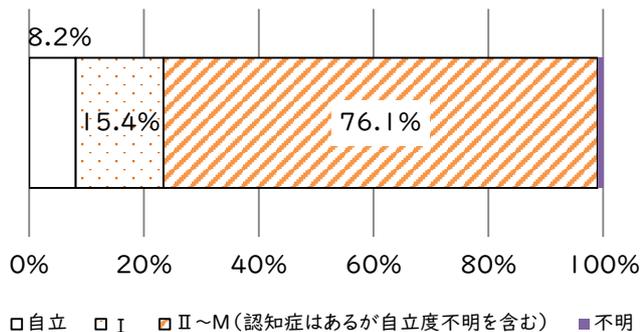
	人数	割合
要支援1	17	5.6%
要支援2	17	5.6%
要介護1	68	22.2%
要介護2	52	17.0%
要介護3	73	23.9%
要介護4	36	11.8%
要介護5	43	14.1%
不明	0	0.0%
合計	306	100.0%
(再掲) 要介護3以上	152	49.7%



【要介護認定者の認知症日常生活自立度】

認知症高齢者日常生活自立度は、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが出現しはじめる「自立度Ⅱ」が最も多く、「自立度Ⅱ」以上(認知症はあるが自立度不明を含む)は全体の76.1%を占めています。

	人数	割合(%)
自立又は認知症なし	25	8.2%
自立度Ⅰ	47	15.4%
自立度Ⅱ	113	36.9%
自立度Ⅲ	80	26.1%
自立度Ⅳ	30	9.8%
自立度Ⅴ	8	2.6%
認知症はあるが自立度不明	2	0.7%
認知症の有無が不明	1	0.3%
合計	306	100.0%
(再掲) 自立度Ⅱ以上	233	76.1%



※認知症高齢者日常生活自立度：高齢者の認知症の程度を踏まえた日常生活自立度の程度を表すもので、自立、Ⅰ(軽度)~Ⅳ、Ⅴ(重度)の6段階で表す。

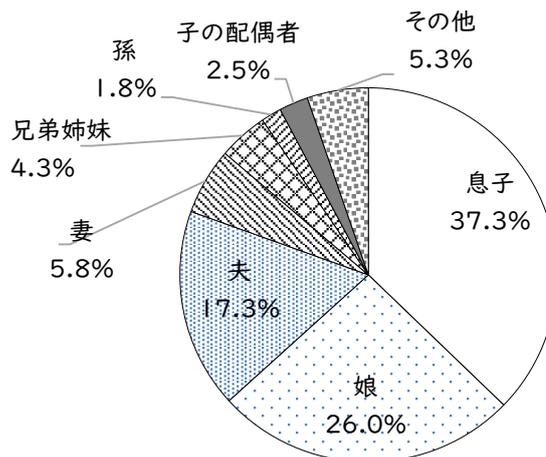
Ⅰ：何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

Ⅴ：著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする。

(5) 虐待を行った養護者(虐待者)の状況 ※虐待者400人(被虐待者ごとにカウントした延べ数)の内訳

虐待者は、「息子」次いで「娘」が多く、あわせて6割以上を占めている。

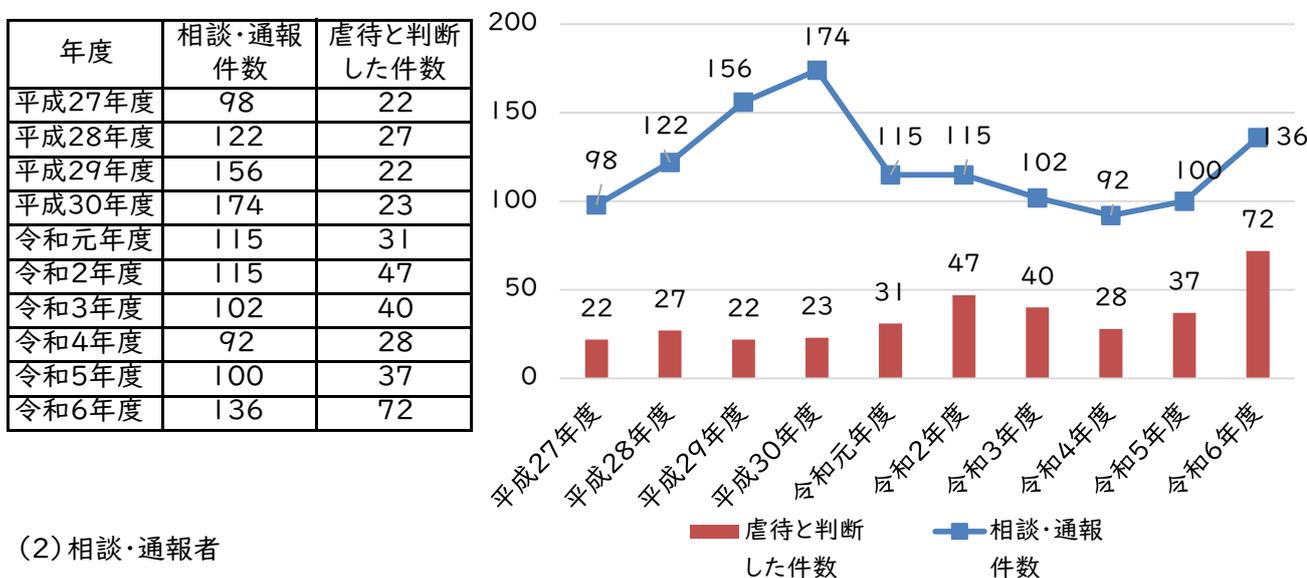
	人数	割合(%)
息子	149	37.3%
娘	104	26.0%
夫	69	17.3%
妻	23	5.8%
兄弟姉妹	17	4.3%
孫	7	1.8%
子の配偶者	10	2.5%
その他	21	5.3%
不明	0	0.0%
合計	400	100.0%



2. 養介護施設従事者等による高齢者虐待についての対応状況

(1) 相談・通報対応件数

令和6年度の養介護施設従事者等による高齢者虐待の相談・通報件数は増加し、また虐待と判断した件数も増加しています。



(2) 相談・通報者

「当該施設職員」「施設・事業所の管理者」「家族・親族」による相談・通報が多くなっています。

通報者(重複有)	人数	割合
当該施設職員	39	28.7%
施設・事業所の管理者	26	19.1%
家族・親族	25	18.4%
当該施設元職員	9	6.6%
介護相談支援員・地域包括支援センター・社協職員	1	0.7%
本人による届出	2	1.5%
不明(匿名を含む)	4	2.9%
医療機関従事者	4	2.9%
介護支援専門員	3	2.2%
警察	0	0.0%
国民健康保険団体連合会	0	0.0%
都道府県から連絡	0	0.0%
その他	23	16.9%
合計	136	100.0%

(3) 虐待の種別(複数回答)

「身体的虐待」が51.6%、ついで「心理的虐待」が43.5%と多くなっています。

	人数	割合
身体的虐待	32	51.6%
心理的虐待	27	43.5%
介護・世話の放棄・放任(ネグレクト)	13	21.0%
経済的虐待	6	9.7%
性的虐待	1	1.6%
虐待と判断した実人員	62	-

